

no. 19

FDO NEWS

発行日：
2020年3月23日

CONTENTS:

- P1 寄稿
- P2 初任教員研修会開催
- P3 全学FD・SDフォーラム開催
- P4 2019年度後期授業アンケート結果報告

大阪工業大学FD委員会

教養教育Next Stage

学長 益山 新樹



古い個人的な話で恐縮ですが、私は1973年春に某高校に入学しました。1年生最初の地理の授業で、恩師T先生は「さて、今月はゲゼルシャフトとゲマインシャフトについて議論しよう」と何の前振りもなく切り出されたのです。当時16歳であった私の頭の中では『?』が無数に飛び交いました。最初の地学の授業では、恩師A先生が「さて、この1年間は地球と月の関係のこと、そして貝塚市蕎原（そぶら）でみられる地層について色々考えてみよう」と曰われました。実際、暑い夏に現地へ巡検に出向き、大汗をかきながら断層をこの目で見ました。この2教科では結局教科書を使っただけの授業は無かったと記憶しています。世界史は、ギリシャ・ローマ時代すら学ぶことなく古代中国史だけに時間を費やし、また、物理に至っては、別の恩師T先生が熱く語られたのは3年間で力学のみ～それも実験中心に～。「波動や電磁気はでけへんかったから、自分でやるとき」と言われ、受験前に必死で自習する他ありませんでした。さらに、高1の5月には「討論合宿」と称するキャンプが能勢で行われ、丸2日間、生徒同士で事前テーマなしにひたすら膝付き合わせて語り合いました。何を話したのか忘却の彼方ですが、確かにあの時、自分の中で新しい世界観が醸成された、ということと言えるかと思います。今になって振り返れば、私が多感な時代の3年間を過ごした高校では、良く言えば、戦前の旧制高校のように生徒の自主性を尊重した教育を実践していたように思います。裏を返せば、学習指導要領などナンボのものや、自由奔放、最後は自己責任、ということなのでしょう。

私が大学に進学したのは例の「大学設置基準の大綱化」以前で、教養部という組織が厳然と！存在していました。ただ、高校時代に先述の学びを経験してきた甲斐あってか、少なからず単位修得の必要があった人文社会系の科目も抵抗なく受け入れることはできました。ほとんどが大教室での古典的講義形態でしたが、国文学（徹底的に夏目漱石）、日本史（徹底的に高松塚古墳）、中国文学（徹底的に杜甫）、

ドイツ語（徹底的に文法）、など、大袈裟に言えば、私の世界観がさらに広がった貴重な学びでした。それが契機となって、その後、大学に残り化学研究に携わるようになって、歴史や文学や芸術への関心が途絶えることはなく、それは今日まで続いています。「その後の人生、少し得をした」と、この歳になって思います。

私は、昨年11月のキャンパスミーティングで、これからの「リベラルアーツ教育強化」を申し上げました。もちろん、例の中教審「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」を踏まえての提言ですが、教養教育というカテゴリーに関する私の実体験もその背景にあります。

普遍的な知識・理解+汎用的技能を文理横断的に定着した人材育成。先の答申には、分かったような分からないような教育目標が掲げられていますが、本学では「豊かな感性を備えた、現場で活躍できるプロフェッショナルの育成」と読み替えて、教養教育を次のステージに進めたいと考えています。卒業要件124単位以上、年間履修申請制限44あるいは48単位以下という制約の中で、リベラルアーツ教育をどこまで展開できるか、知恵を絞らなければなりません。FDの観点からも、旧態然とした授業形態・授業内容をこの機会にフルモデルチェンジする、という意識改革も必要でしょう。私は、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院の取組みが一つのベンチマークになるのではないかと、思っています。今、全学あげて検討している新しいリベラルアーツ教育の制度設計、斬新な発想も取り入れていきましょう。ハードルは高いのですが、一人でも多くの学生が主体的に学び、学ぶ過程で関心が喚起される科目となることを目指したいと思えます。

初任教員研修会を開催しました

2019年度初任教員研修会 9月18日開催

■ テーマ

「授業の基本」ワークショップ

■ 講師

滋賀県立大学理事兼副学長 倉茂 好匡 氏

■ 場所

761教室（大宮キャンパス）

滋賀県立大学 理事兼副学長 倉茂 好匡 先生を講師としてお迎えし、2018年度、2019年度に着任された教員を対象に「授業の基本」ワークショップを実施しました。

本研修会は「関西地区FD連絡協議会初任教員向けプログラム」の一つとして協議会との共催事業となっており、加盟大学から8名（大阪産業大学、大阪薬科大学、神戸常盤大学、同志社大学）、本学から24名、合計32名が参加しました。

ワークショップの構成は次のとおりです。

- 第1講 授業の基本① -基本の基本-
- 第2講 授業の基本② -授業展開上の罫-
- 第3講 授業づくりワークショップ

第1講から第3講で構成され、第1・2講は「授業の基本」に関する講義、第3講は「授業づくりワークショップ」となっており、教授、准教授、講師、助教といった様々な立場の方々が皆様に熱心に受講されていました。

第1・2講では、講師が良い授業例と悪い授業例を提示しながら、授業の導入や展開、話し方、教材研究、チョークの持ち方や見えやすいチョークの色、学生への発問のテクニックなどを学びました。

第3講では6グループに分かれて授業づくりグループワークを行い、最後に各グループで5分間のミニ授業を実施しました。グループワークでは、パソコンやスマートフォンを用いてミニ授業に使用する教材を探しました。また、第1・2講を振り返り、授業のヤマ（ポイント）のおきかたに注意してミニ授業の内容を検討しました。

同じテーマでのミニ授業でしたが、6グループとも個性のある授業が展開され、講師からはそれぞれのミニ授業に対して講評が行われました。

学外参加者との交流もあり、参加者は明るい雰囲気の中、ワークショップ全体を通じて、多くのものを得た様子でした。



講演を行う倉茂先生



グループワーク



発表

「初任教員研修会」参加者から寄せられた感想を紹介します。

<学内参加者>

- ・ 発問すること、その技術を知ることができた。板書について細かく知ることができた。
- ・ 講義で注意すべき点は非常に良くわかった。
- ・ 実際にグループワークで講義コンテンツを作り、コメントを得られたため、自分で気が付かない修正点等を把握できた。
- ・ 講義時間においての学生との接し方などが大変参考になった。
- ・ 講義の基本（チョークの持ち方、板書法、発声法、発問の仕方等）をていねいに具体例を示しながら説明いただき、明日からの講義に生かせると思う。

<学外参加者>

- ・ 授業の進め方、注意点がわかりやすく説明された。実践もあり、充実していた。
- ・ 「授業の基本」というタイトルどおり、基礎の基礎から教えていただくことができたことが大変新鮮だった。
- ・ 先生には昼休みや終了後にも個別にご指導いただき、大変有意義な1日となった。

全学FD・SDフォーラムを開催しました

第26回FD・SDフォーラム 12月24日開催

■ テーマ

- ① 教学IRの現状と今後の展望
- ② 教学IRの実践報告

■ 講師

- ① 井上 晋 氏 (本学 工学部 都市デザイン工学科 教授・教務部長)
 棕平 淳 氏 (本学 工学部 総合人間学系教室 教授・教育センター長)
- ② 馬場 望 氏 (本学 工学部 建築学科 教授)
 田熊 隆史 氏 (本学 工学部 電気電子システム工学科 准教授)
 椎原 正次 氏 (本学 情報科学部 情報システム学科 教授)

■ 場所

- 大宮キャンパス 234教室
 梅田キャンパス 1007教室
 枚方キャンパス 1305教室

今回は、「教学IRの現状と今後の展望」と「教学IRの実践報告」の2テーマで5名の先生方にご講演いただき、210余名の教職員が参加しました。

本学が近年取り組んできた教育力および教育ブランド力の向上は、「質保証強化」をめざすAP事業との相乗効果を得て、確実に前進してきました。さらに、学修成果の可視化による学生の意欲増進と指導強化は、ディプロマ・サプリメント（DS）システムの全学的導入によって軌道に乗りました。一方、教職員側に教学システム全般の自己点検・改善を促す教学IRは、ツール開発と方策の模索を経て、今年度の全学的試行に到達しています。

今回のFD・SDフォーラムでは、主にこの教学IR推進を中心に、現状の成果や事例の共有を行いました。

まず、AP事業関連の取組み等の本学の教育改革について振り返りました。そしてそれらの教育改革における教学IRの位置づけについて確認しました。その後本学の教学IRについて、今までの全学的な動きや今後の予定について共有しました。具体的には、IR分析システムの機能や、IR年報に基づく作業のスケジュールについて確認しました。

次に、2019年度に各学部で行ったIR活動のうち、工学部建築学科、電気電子システム工学科、および情報科学部の報告を行いました。工学部の2学科からは、「ミニマム・リクワイアメント（MR）設定による成績評価の厳正化」および「100分授業・14週化」と授業外学修時間についての分析を中心に報告頂きました。情報科学部からは、授業外学修時間に関する分析と、授業外学修時間を考慮した修学指導について報告頂きました。

今後もFD・SDフォーラムでは、学部・学科・授業単位の取組みをご報告頂き、大学全体で共有する機会を提供します。



講演を行う棕平センター長



全景

「全学FD・SDフォーラム」参加者から寄せられた感想を紹介します。

アンケート提出者：212名

「テーマ設定についての満足度」選択回答 集計結果

良い=105名(49.5%)	まあまあ良い=73名(34.4%)	ふつう=30名(14.2%)
やや悪い=1名(0.5%)	悪い=0名(0.0%)	未回答=3名(1.4%)

参加者から寄せられた感想を紹介します。

- ・カリキュラム・コーディネート／教学マネジメントという今日的な大学の取り組みがよく分かった。
- ・IRの分析には、様々な角度からのアプローチがあることについて大変参考になった。
- ・経験で対応していた事柄をデータの分析結果に基づいて判断することの重要性を再認識した。ただし、どのように分析するのかは今後の課題であるように思えた。
- ・情報科学部の発表の、学生を4つのカテゴリーに分類して各々に合わせた修学指導を行う方針が納得できた。

2019年度後期に実施した授業アンケートの概要と集計結果を報告します

【実施科目数等】

区分	対象科目	科目数	履修者数	回答者数	回答率 (%)
学部	後期前半クォーター科目	83	4,166	1,783	42.8%
	後期科目	1,256	54,249	34,772	64.1%
大学院	後期後半クォーター科目	75	3,574	1,660	46.4%
	後期前半クォーター科目	18	210	77	36.7%
合計	後期科目	101	1,003	473	47.2%
	後期後半クォーター科目	11	167	69	41.3%
合計	後期前半クォーター科目	101	4,376	1,860	42.5%
	後期科目	1,357	55,252	35,245	63.8%
総計	後期後半クォーター科目	86	3,741	1,729	46.2%
	後期全科目	1,544	63,369	38,834	61.3%

※ (全学部、工学研究科、RD工学研究科、情報科学研究科)
 1 3回目または1 4回目に実施、週1回のクォーター科目は6回目または7回目、週2回のクォーター科目は1 3回目または1 4回目(知的財産研究科)
 1 4回目または1 5回目に実施、週1回のクォーター科目は7回目または8回目、週2回のクォーター科目は1 4回目または1 5回目

【設問項目】

設問内容	選択肢
問1 この授業は、「授業のねらい、到達目標、進め方、使用する教科書・参考書、成績評価方法」について、授業初回に資料などを用いて説明が適切に行われましたか?	5: 適切であった 4: ほぼ適切であった 3: どちらとも言えない 2: あまり適切でなかった 1: まったく適切でなかった
問2 この授業は、シラバス記載内容あるいは授業初回の説明に沿って進みましたか?	5: 進んだ 4: ほぼ進んだ 3: どちらとも言えない 2: あまり進まなかった 1: まったく進まなかった
問3 この授業は、学生の理解度を配慮しながら進められましたか?	5: 強くそう思う 4: ややそう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: まったくそう思わない
問4 この授業は、教員の話し方は明瞭で、わかりやすかったですか?	5: 強くそう思う 4: ややそう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: まったくそう思わない
問5 この授業は、黒板の使い方、文字の大きさ・見やすさ、映像資料の図や文字の見やすさ、は適切でしたか?	5: 適切であった 4: ほぼ適切であった 3: どちらとも言えない 2: あまり適切ではなかった 1: まったく適切ではなかった
問6 この授業の進行度は、内容を理解し到達目標を達成するのに適切でしたか?	5: 適切であった 4: ほぼ適切であった 3: どちらとも言えない 2: あまり適切ではなかった 1: まったく適切ではなかった
問7 あなたは現時点で、この授業の到達目標をどの程度達成できたと思いますか?	5: 100%~90% 4: 90%未満~80% 3: 80%未満~70% 2: 70%未満~60% 1: 60%未満
問8 この授業の回あたり平均して、予習・復習・レポート作成・課題作成(準備)に何時間かけましたか?	5: 3時間以上 4: 2時間台 3: 1時間台 2: 30分~1時間 1: 30分未満
問9 総合的に考えて、この授業を受講してよかったと思いますか?	5: 強くそう思う 4: ややそう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: まったくそう思わない
問10 この授業を良くするための意見、改善して欲しい事項があれば入力してください。	自由記述

【集計結果】 ※大学院を除く

学部	学科等	科目数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
工学部	都市デザイン工学科 (後期前半クォーター科目)	3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	都市デザイン工学科 (後期後半クォーター科目)	48	4.36	4.36	4.15	4.18	4.22	4.19	3.56	3.16	4.18
	建築学科 (後期前半クォーター科目)	3	4.51	4.54	4.23	4.25	4.19	4.26	3.56	2.90	4.32
	建築学科 (後期後半クォーター科目)	29	4.28	4.22	4.06	4.12	4.13	4.08	3.32	3.08	4.12
	機械工学科 (後期後半クォーター科目)	2	4.23	4.25	4.13	4.17	4.12	4.18	3.53	2.96	4.15
	機械工学科	56	4.27	4.28	4.03	4.13	4.12	4.10	3.41	2.87	4.07
	電気電子システム工学科	27	4.28	4.30	4.07	4.13	4.14	4.14	3.23	3.04	4.15
	電子情報システム工学科	28	4.41	4.41	4.06	4.13	4.20	4.17	3.13	3.12	4.13
	応用化学科	38	4.43	4.47	4.12	4.19	4.22	4.22	3.22	3.28	4.23
	環境工学科	33	4.19	4.18	4.02	4.09	4.05	4.08	3.40	3.10	4.00
	生命工学科	29	4.18	4.17	3.91	3.93	3.92	3.95	3.24	3.16	3.90
	ロボット工学科 (後期前半クォーター科目)	11	5.00	4.67	4.50	4.83	4.33	4.17	3.83	4.00	4.83
	ロボット工学科 (後期後半クォーター科目)	5	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	4.00	5.00
	ロボット工学科 (後期前半クォーター科目)	18	5.00	4.50	3.75	4.50	4.50	4.50	3.00	3.50	4.25
	空間デザイン学科 (後期前半クォーター科目)	4	5.00	5.00	4.50	4.50	5.00	5.00	4.50	1.00	4.50
	空間デザイン学科 (後期後半クォーター科目)	12	5.00	4.86	5.00	5.00	5.00	5.00	4.43	2.29	4.86
	共通科目	7	4.00	5.00	3.00	5.00	5.00	3.00	3.00	2.50	5.00
	その他連携科目	5	4.25	4.24	4.20	4.25	4.21	4.23	3.71	2.48	4.15
	キャリア形成の基礎	176	4.31	4.37	4.14	4.18	4.21	4.18	3.56	2.49	4.03
	工学の基礎 (後期前半クォーター科目)	6	4.00	5.00	3.50	4.50	4.50	3.50	3.00	4.00	4.00
工学の基礎 (後期後半クォーター科目)	143	4.15	4.20	3.88	3.93	4.04	3.99	3.39	2.85	3.92	
数理科学と教育 (後期後半クォーター科目)	2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
数理科学と教育	17	4.45	4.46	4.21	4.21	4.13	4.29	3.40	2.84	4.28	
ロボット工学科 (後期前半クォーター科目)	15	4.20	4.21	3.90	3.94	4.00	4.02	3.32	3.09	4.03	
ロボット工学科 (後期後半クォーター科目)	11	4.17	4.11	3.82	3.96	4.02	3.96	3.22	3.03	3.97	
システムデザイン工学科 (後期前半クォーター科目)	11	4.19	4.27	3.88	3.92	3.95	4.00	3.17	3.08	3.96	
システムデザイン工学科 (後期後半クォーター科目)	13	4.10	4.03	3.90	3.91	3.93	3.92	3.22	2.77	3.86	
システムデザイン工学科 (後期前半クォーター科目)	5	4.39	4.42	4.19	4.21	4.22	4.10	3.39	2.48	4.38	
空間デザイン学科 (後期後半クォーター科目)	16	4.31	4.29	3.98	3.98	4.12	4.05	3.44	3.63	4.22	
空間デザイン学科 (後期前半クォーター科目)	7	4.18	4.08	4.02	4.04	4.17	4.08	3.32	2.33	4.11	
空間デザイン学科 (後期後半クォーター科目)	9	4.22	4.11	3.91	4.06	4.10	4.05	3.15	2.48	3.86	
共通教養科目 (後期後半クォーター科目)	41	4.43	4.47	4.32	4.39	4.34	4.34	3.69	2.35	4.19	
共通教養科目 (後期前半クォーター科目)	8	4.33	4.28	4.00	4.22	4.27	4.17	3.36	2.73	4.02	
共通教養科目 (後期後半クォーター科目)	16	4.29	4.34	4.05	4.12	4.08	4.12	3.45	2.76	4.12	
工学関連科目 (後期後半クォーター科目)	1	4.25	4.41	3.93	4.05	4.01	4.13	3.68	3.75	4.03	
工学関連科目 (後期後半クォーター科目)	10	4.42	4.46	4.30	4.34	4.34	4.35	3.76	2.72	4.25	
専門横断科目	8	4.37	4.39	4.20	4.25	4.27	4.22	3.63	3.16	4.21	
情報知能学科	63	4.25	4.30	3.95	3.97	4.09	4.10	3.31	3.03	4.05	
情報システム学科	55	4.30	4.33	3.97	4.00	4.10	4.12	3.28	3.08	4.11	
情報メディア学科	62	4.20	4.26	3.92	4.06	4.06	4.03	3.20	3.23	4.00	
ネットワークデザイン学科 (後期後半クォーター科目)	63	4.13	4.16	3.89	3.90	3.99	3.96	3.20	3.12	3.92	
ネットワークデザイン学科 (後期後半クォーター科目)	1	3.80	3.86	3.67	3.67	3.74	3.86	3.31	2.33	3.58	
共通科目	103	4.23	4.26	4.00	4.04	4.07	4.08	3.28	2.50	3.94	
キャリア科目	8	4.56	4.64	4.56	4.60	4.43	4.47	3.84	2.38	4.42	
導入領域	6	4.46	4.43	4.26	4.42	4.38	4.35	3.78	3.36	4.20	
教養領域	37	4.25	4.22	4.15	4.18	4.17	4.11	3.55	2.93	4.05	
専門領域	60	4.36	4.29	4.19	4.25	4.19	4.21	3.56	3.02	4.17	
展開領域	47	4.46	4.42	4.37	4.40	4.34	4.37	3.81	3.02	4.34	
その他連携領域	3	4.19	4.10	4.16	4.26	4.03	4.13	3.68	3.06	4.19	
教職科目	30	4.53	4.54	4.42	4.45	4.44	4.43	3.52	2.69	4.43	
平均(合計) (後期前半クォーター科目)	83	4.27	4.28	3.98	4.04	4.06	4.07	3.32	2.87	4.06	
平均(合計) (後期後半クォーター科目)	75	4.20	4.16	3.97	4.05	4.09	4.06	3.35	2.77	4.00	
総計	1,414	4.27	4.29	4.04	4.09	4.13	4.11	3.40	2.88	4.05	

授業科目に係る情報の公開について

教育の質向上や教育効果の測定に関わる全学的な取り組みとして、2014年度から授業アンケートの結果および当該授業科目の受講者数、成績分布、合格率等の授業情報について公開を行っています。

本学では授業アンケートの継続実施だけでなく、授業参観の実施やシラバス記載事項の見直しなどの教育改善に取り組んでいます。それらに加え、さらなる教育の質向上を図る一つの方策として、授業アンケート結果の公開範囲を拡大しています。

大学ホームページ「在学生の方へ」から「学生による授業アンケート結果・成績評価状況等(学内専用)」をご参照ください。

～FD NEWSを教職員の情報共有にお役立てください～

学部・学科・小グループ・個人での取り組みや活動をFD NEWSに投稿してください。
 授業運営上の悩みを解決した方法などがあれば情報共有していきましょう。

【お問合せ先】
 大阪工業大学教務部教務課
 TEL.06-6954-4083
 FAX.06-6954-4049
 OIT.FD@joshu.ac.jp